

札幌への転院搬送

道南地域において医療機関は函館市に偏在しており、函館市でしか提供できない医療があります。これは北海道全体でも同様であり、札幌市に医療機関や医師が偏在し、札幌市でしか提供できない医療があります。そのため函館市で治療が継続できない患者さんの場合、札幌市に送り届ける必要が出てきます。その手段としてはドクターヘリ、消防防災ヘリ、メディカルウィング、自衛隊機、民間

救急車などがありますが、今回はECMOcar(エクモカー)をご紹介します。コロナ禍で耳にすることが多くなったエクモはいわゆる人工心肺装置です。患者さんの血液を体外に取り出し、酸素を渡して酸化炭素を排出させ、体内に再び血液を戻します。機器は大型であり、管理には高度な知識を要し、医師・看護師・臨床工学技士が協同して管理する必要があります。函館市でもエクモ

を用いた治療が行われていますが、何人も同時に治療するには人材の観点から限界があります。その際には札幌への移送が検討されますが、ここで活躍するのがエクモカーです。2022年2月に札幌医科大学附属病院で道内初のエクモカーが導入されました。ヘリコプターや航空機、救急車では対応できない大型の機器を装着した重症患者さんの搬送を得意とします。訓練を受けた医師・看護師・臨床工学技士からなるチームで出動し、道内全域から札幌市の病院へ安全に搬送することができます。函館市から2023年3月時点で3名の患者さんを搬送した実績があります。どの病院からの相談も受け付けていますが、エクモを導入できる施設は限られています。函館市の医療が既にひっ迫している場合、エクモを必要とする重症患者さんをドクターヘリなどで迅速に函館市内へ搬送し、初期治療を行い安定化させたのち、エクモカーで札幌へ搬送するのが最も救命率の高い最善手と考えられます。



市立函館病院
救急科
坂脇 英志 主任医長

略歴 平成18年、札幌医科大学医学部卒業後、同大附属病院、苫小牧王子総合病院勤務などを経て、平成26年から市立函館病院に勤務。平成31年4月に救急科主任医長に就任。日本救急医学会救急科専門医。



市立函館病院 函館市港町1-10-1 ☎0138-43-2000(代) <https://www.kanbyou.jp/>

■診療科目/消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器外科、心臓血管外科、精神神経科など全30科目
■外来診療受付時間/8:30~11:30、午後は予約患者のみ ※診療科によって異なるので詳しくは問い合わせ
■休診日/土・日曜、祝日
がん相談支援センター開設時間/8:30~17:00(土・日曜、祝日を除く、内線3289)
なんでも相談コーナー開設時間/8:30~17:15(土・日曜、祝日を除く、内線4112)

